

Title	西比利亜の経済的意義 ( 上 )
Sub Title	
Author	阿部, 秀助
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1918
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.12, No.4 (1918. 4) ,p.499(95)- 503(99)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑録
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19180400-0095">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19180400-0095</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

が如き熟字の支那文章に於て用ゐられ得可きや疑はし<sup>ホロダス</sup>なる語は河伯の熟字より出でたるやも知れず河伯は比喩として海の義に用ゐらる例へば河伯爲之不潮と云ふが如し。思ふにこの語は初めて寧波に於て用ゐられたるならん」と云ふた。されど河伯所の熟字は實際用ゐられしが上廣東の河伯所が外國貿易の監督に關係せしことは下に引抄せる逸事を見ても明瞭である。して見れば<sup>ホロダス</sup>は河伯所より出で更に海都と混同せられたりとも云ひ得るのである。而してこの逸事は『清朝野史大觀』の卷一に見えて居る。

内閣供事藍某。富陽人。在閣當差有年。清雍正六年元夕。同事皆歸家。藍以眷屬皆不在京。獨留閣中。對月自酌。忽來一丈夫。袍服麗都。狀甚豐偉。藍疑爲內廷值宿官。舉杯相招。其

人欣然就坐。笑問曰。君何官。曰非官。供事也。問何姓。真以對。問何職掌。曰管收文書。問共有若干人。曰四十餘。問皆安在。曰今日令節。皆回家矣。問君何獨否。曰眷屬不在此。無可歸也。且既有管理文書之責。亦安敢遽離。問當此差有何好處。曰將來役滿。可注選一小官。問小官樂乎。曰若運好得選廣東河伯所。則大樂矣。問河伯所何以獨樂。曰以其近海。舟楫往來。餽贈多耳。其人笑領之。又飲數杯別去。明日帝視朝召諸大臣問曰。廣東有河伯所官乎。曰有。曰可特授藍某補授。諸大臣出不知藍某爲何人。共相疑怪。有內監密白昨夜帝微行事。乃往內閣宣旨。藍瞪目咋舌久之。後仕至郡守。

### 西比利亞の經濟的意義 (上)

阿部 秀助

本論文は「モスコ」駐在米國總領事 John H. Snodgrass, Russia の一部を譯出せるものにして、西比利亞の部は主として浦港駐在米國領事 John F. Jewell の最近の報告に基きしものなりとす。

昔時「ヘロダス」は何等信ず可きものなきの故を以て「バビロニア」の地味に就きて言ふことを避けたり、之れと同一の嘆聲を發せしむるものは現時の西比利亞にして、吾人は此廣漠たる領土を通じて經濟上、其他、専門的智識を有す

るもの甚だ少きに苦まざるを得ず、然かも此地方たるや尙ほ五十年前の「カナダ」に似て經濟上、有望なると共に、其黒土帯に於ける人口は一平方哩八人にして、西部及中部西比利亞は一個の穀倉たると共に北部には經濟上價值多き處女林あり、又、河流に産する魚類は適當に貯藏せらるゝに於ては有力なる生活品たるを得可く鑛業の如き若、近世式の機械と之れが經營にして宜しきを得るに於ては巨額の富を齎らすを得可く、尙ほ交通の如きは幾多の水運以外に鐵道の便あり。

露西亞本部より西比利亞方面に對する移住は千九百十一年の當時に於て殊に甚しく、移民局の調査によれば同年に於ける移民の總數は二十二萬六千六十二人に達し、以上の移住者に對し

て附與せられたる土地は七百九十六萬五千「エーカー」に上れり、尙ほ其翌年、遊牧的生活を脱せし「キルギス」人に附與せられし土地は二百一萬一千五百「エーカー」にして其他同年に於て最も務められしものは通路及灌漑用水の新設等なりとす。

「ウラル」以東の未耕地に於ける移住は此廣大なる領域の露國化を完全ならしむると共に、食料供給問題、人口増加問題を調節せんとするにあり、斯くて當時の政府は總ての便利を與へんが爲めに各種の農具及良種の種子を供給し、農民は農會、信用組合、貯金銀行等の設備によりて更に非常なる便益を被むるに至れり、斯くて西部西比利亞の如きは既に千八百九十九年を以て小麦を歐露方面に輸出し殊に牛酪の如きは其生産額甚だ多き結果、之れが、輸出額は穀類を凌

駕するに至れり、斯くて政府は牛酪製造業の發達に非常なる興味を有し、獨逸、丁抹、英國の諸會社は此方面に産出する牛酪の買入れに忙はしく、又、年々約三萬噸餘の肉類は歐露方面に輸出せられ、而して之れが取引の中心は「オムスク」及「ペトロバヴロスク」にして「バルナウル」「カインスク」「クルガン」「オムスク」には之れが研究所の設備あり、西比利亞方面に於ける初期の牛酪製造工場は千八百九十四年を以て「トボルスク」州に設けられ爾來千九百十二年に至る迄同州に於ける之れが數千二百に達するに至れり、又、「トムスク」州にありては千八百九十五年に於ける之れが數は僅かに十二箇所に過ぎざりしが、千九百十二年は二千二百を以て數ふるに至れり、斯くて千八百九十四年に僅かに四百「ブード」を輸出せし西比利亞は千九百十二

年には四百三十萬「ブード」其價格三千九十萬弗を輸出するに至り、同地方に於ける産金價格よりも遙かに大なる金額を西比利亞其者に齎らすに至れり、千九百十二年西比利亞に産出せし金は百十萬四千五百五十七「トロイ・オンズ」銀、十三萬四千四百六十五「トロイ・オンズ」にして兩者を合したる價額は二千六十八萬七千九十四弗に達せり。次ぎに西比利亞の經濟的發達を現はすものは農業上に於ける機械器具の輸入の大なることにして、「トランス・バイカル」に至る迄の農業上の諸機械は何れも「チェリアビンスク」を経て輸入せられしものにして、之れが輸入額の最も巨額に達せしは千九百十二年のことにして但其數字を明白に擧ぐることはざるを遺憾とす。

方は露國の領土内に於ける最も大なる炭田の一にして、又、「アルタイ」地方は金、銀を産し、加ふるに此地方は以上の外に銅及鉛を出し、更に「オブ」及「イルチシ」流域に沿ふて非常に豊富な鑛産地あり、又、西部西比利亞方面に於ける森林は多年、歐洲市場に對して木材供給の任務に當りしものにして、若、交通機關にして更に完備するに於ては此方面よりの輸出は更に甚しきを加ふ可し、更に北部西比利亞地方は多年、不生産的の地方として見做されしが、政府方面の調査、實驗によれば同地方は最も品質の佳良なる「チース」の製造に適せりと。

吾人は以下、各州に就きて細論せんと欲す。

三、

「トランス・バイカル」は二十三萬六千九百三十二方哩の面積を有するを以て、獨、埃、佛、

伊の諸國を合せしものより大なり、只だ氣候及土壤の狀態及、住民の職業に就きて論ずることは困難なるも、おしなべて、此州に於ける農業は黒龍江州に於けるが如く重要視せられざるも然かも土地の開發と共に移住者の數増加するに於ては、同地方に産出する麥類は單に地方の用度を満足せしむるのみにあらずして同時に之れを輸出し得るに至る可し、又、此州には各種の牧草あり、土人は之れを「フォストレッ」と稱す、此牧草は勿論、野生にして冬期に於ける家畜用として極めて適當なり、尙ほ此州は南部を除き到る處森林を以て蔽はれ、就中使用せらるゝことの多きは落葉杉及普通の松樹にして、前者は燃料に、後者は専ら建築用に供せらるゝ、而して製材事業は未だ商賣用の境に達せず。

同州に於ける人口は未だ緻密と稱することを

得ず、千九百十一年に於ける官廳の調査によれば此廣大なる面積に住するもの、數は九十四萬七百九十六人にして、其中五十萬五千六百八人は男子、四十三萬五千八百八十八人は女子なりとす、而して以上の住民は次の如く區分せらる。露西亞人七〇「バーセント」、ブリアトニ一〇「パーセント」、ツングース五「パーセント」、猶太人一・五「パーセント」、自餘の種族三・五「パーセント」なりとす、而して以上の住民は多く州の中央部殊に「シルカ」「インゴダ」「セレンガ」「チコイ」「ヘルカ」の流域にあり、又、北部地方に住する者は極めて少數にして、斯くの如きは氣候の人體に適應せざると、通路の全く排除せるによるものなりとす、加ふるに其土地の大部分が黒龍江方面に於ける「コサック」に貸與せられたること

も又、之れが一原因たり。尙ほ此州に於ける農

業上に使用せらるる土地は州の所有地たる西部地方と、政府所有の東部地方と諸川の流域地方に於ける移住地にして「コサック」以上三地方の間に介在せり、更に以上の所有地を數字を以て現はす時は州の管轄地は五千四百萬「エーカー」「コサック」の所有地三千二百萬「エーカー」政府の所有地六千四百八十萬「エーカー」及都市及寺院に屬するもの十八萬九千「エーカー」なりとす、更に以上を實際に使用せられつゝある點より見る時は「コサック」に屬するもの千四百四十萬四千五百「エーカー」農民の所有地四百九十一萬六千七百「エーカー」土人の所有地千八百三十二萬二千二百「エーカー」、都市に屬するもの十四萬八千五百「エーカー」寺院に屬するもの一萬八千「エーカー」政府の所有地七百六十四萬千「エーカー」なりとす。

要するに同州の四二「パーセント」は森林及荒地にして、三五「パーセント」は放牧地、一三「パーセント」は農地、一〇「パーセント」は牧草地なりとす。